

3-4. 「地権者・市民等への継続的な情報提供」に向けた取り組み

(1) 地権者支援情報誌「ふるさと」の作成・発行

1) 取り組みのポイント

地権者に対しては一昨年度まで、跡地利用に関わる行政側からの最新情報や地権者側の検討組織である若手の会の活動状況等に関する情報の提供、各種説明会等への参加の促進を目的に、地権者支援情報誌「ふるさと」が発行されており、地権者が跡地利用等に関する最新情報を得るための重要な情報発信媒体となっていた。しかし、昨年度は普及啓発用絵本や漫画本、「お笑い普天間劇場」の開催等、「全体計画の中間取りまとめ」に関する情報提供を行うための情報発信媒体の作成等に注力したため、情報誌の発行を行わなかった。

そこで今年度は情報誌による情報提供を再開させることで、地権者を対象とした継続的な情報発信媒体としての確立を目指す。また、地権者支援情報誌「ふるさと」の発行によって、「全体計画の中間取りまとめ」の計画内容や跡地利用の実現に向けた前提の考え方となっている「土地の共同利用」についてわかりやすい情報提供を行うとともに、次年度以降に予定している地権者意向把握調査についての周知等を行うこととする。

2) 情報発信の内容

回 数	発送時期	主な掲載内容
第 40 号	平成 27 年 2 月	○報告・紹介事項 ・「全体計画の中間取りまとめ」の概要紹介 ・跡地利用計画（素案）策定に向けた今後のスケジュールの紹介 ・若手の会と地主会の連携により実施した字別出前意見交換会（神山地区）の実施報告
第 41 号	平成 27 年 3 月	○報告・紹介事項 ・「全体計画の中間取りまとめ」の前提となる「土地の共同利用」に関する概要紹介 ・跡地利用計画（素案）策定に向けた今後のスケジュールの紹介 ・地主会役員を対象に行った「土地の共同利用」をテーマとした勉強会の実施報告 ○告知事項 ・地権者意向アンケート調査実施のお知らせ



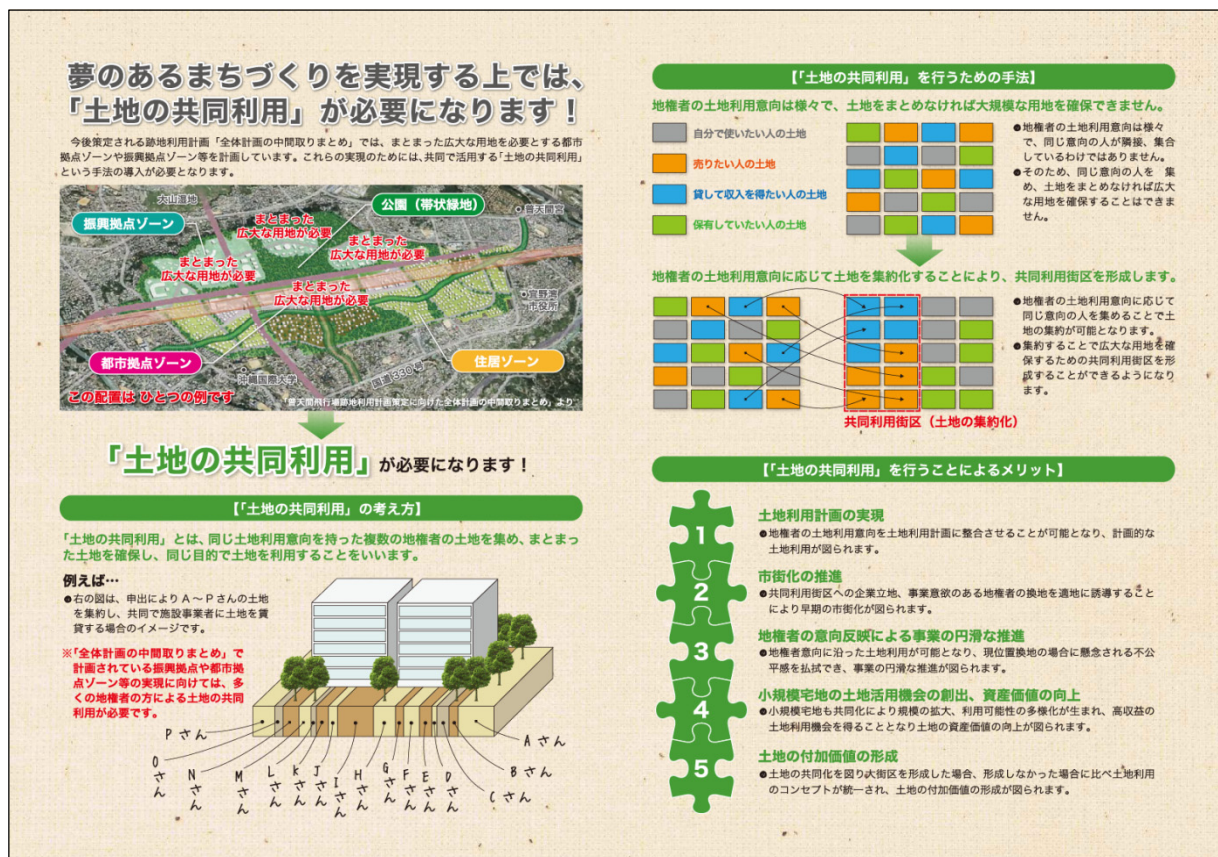
図：地権者支援情報誌「ふるさと」40号（表面）



図：地権者支援情報誌「ふるさと」40号（中面）



図：地権者支援情報誌「ふさと」41号（表面）



図：地権者支援情報誌「ふさと」41号（中面）

(2) 「まち未来だより」の作成

1) 取り組みのポイント

市民に対しては一昨年度まで、跡地利用に関わる行政側からの最新情報や市民側の検討組織である NB ミーティングの活動状況等に関する情報の提供等を目的に、「普天間飛行場跡地利用ニュース」が発行されており、市民が跡地利用等に関する最新情報を得るための重要な情報発信媒体となっていた。しかし、昨年度は普及啓発用絵本や漫画本、「お笑い普天間劇場」の開催等、「全体計画の中間取りまとめ」に関する情報提供を行うための情報発信媒体の作成等に注力したため、情報誌の発行を行わなかった。

そこで今年度は情報誌による情報提供を再開させることで、市民を対象とした継続的な情報発信媒体としての確立を目指す。情報誌による情報提供の再開にあたっては、市民にとって跡地利用は「地権者の問題」という意識が根強く残っている現状を踏まえ、名称を「普天間飛行場跡地利用ニュース」から「まち未来だより」に変更し、跡地利用に関する情報だけでなく宜野湾市全体のまちづくりに関する情報をわかりやすく提供することで市民が親しみを感じられる情報誌となることを目指す。また、「まち未来だより」の発行によって、跡地利用に向けた現在の進捗状況等に関する情報提供を行うとともに、NB ミーティングの認知度向上に向けた活動の周知や市民のまちづくり機運向上を目的に実施した「まち歩きとまちづくり座談会」の周知等を行うこととする。

2) 情報発信の内容

回 数	発送時期	主な掲載内容
第 1 号	平成 27 年 2 月	○報告・紹介事項 ・「全体計画の中間取りまとめ」の概要紹介 ・跡地利用計画（素案）策定に向けた今後のスケジュールの紹介 ○告知事項 ・自治会を対象とした「まち歩きとまちづくり座談会」実施のお知らせ
第 2 号	平成 27 年 3 月	○報告・紹介事項 ・上大謝名地区、宜野湾地区を対象に実施した「まち歩きとまちづくり座談会」の実施報告 ・「沖縄学生会議 2015」の実施報告 ・跡地利用計画（素案）策定に向けた今後のスケジュールの紹介



2015 April 発行

宣野市野基地政策部未占未采

「まち未来だより」では、普天間飛行場跡地利用を始めとした宜野湾市のまちづくりに係る最新情報をお伝えします。

!! 施実を極点のちとん壁の域を

「地権者」の問題と認識されがちですが、陸地利用を成功させるためには、豊野湾市一帯となつてまわつていく取組が必要であります。そこで、豊野湾市では自然条件単位で隣地周辺のまちを見直す「まち歩き」をまたつていく取組をスタートさせました。今年度は上大瀬名地区と豊野湾地区を対象に実施し、次年度以降も取組を活動化させていく予定です。

上大謝名地区

開催日時：平成27年3月8日（日）13:30～16:30
参加者数：16名（上大謝名自治会役員 他）



①まち歩き、歩道の事前検査



② $q^{\mu} \rightarrow -q^{\mu}$ に分かれてまちまち



③まち歩き「取組」と「めと」発表

上大謝名地区では、主に「住宅地の中に緑が多いこと」、「高台からの見晴しが良いこと」、「文化財が残っていること」等の地域が挙げられ、また、「歴史街道が抜け道となっている地区内を通るが多い」、「道が狭くデッドポイントになっている歩いて歩くのが危険」等の地域の問題も挙げられました。また、「緑地木のコミュニティ道路を整備したい」といった地域の声も数多く聞かれました。

宜野湾地区

開催日時：平成27年3月15日(日) 13:30～16:30
参加者数：15名(宣野灣自治会役員、宣野灣親友会、「若手の会」他)



① 李七先生詩：嘉祐初年。



②物語の成りかたちを開きかたにまちなみと絡



② 千七百七十年のBall 申し込み

宜野湾地区では、仲村自治会長さんより戦前から戦後にかけて、地域の成り立ちを解説して頂きながら、ま
ちを歩きました。主に「大きな船舶施設がない閑静であること」、「海が広く、開放的な心配が無いこと」、「基
礎的に歴史あること」、「父老の多い場所がある」等の地域の特色が引き出されました。また、歩道が狭く
危険であること、交通の便が悪いこと、公園等の憩いの場が無いこと、地域の問題が挙げられました。

図：「まち未来だより」2号（表面）

学生目線の跡地利用を議論しました！！



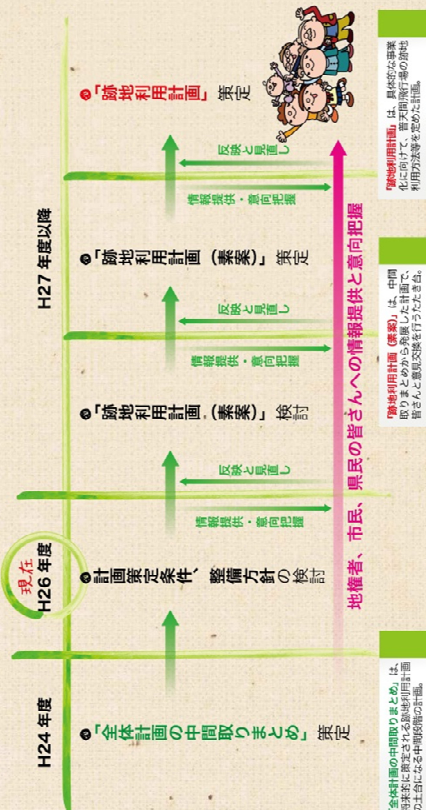
県学生会議 2015」の様子

跡地のまちづくりは、宜野湾市の今後のまちづくり
に大きな影響を与えるものであることから、将来を
担う若者にも普天間飛行場の跡地利用に関心を持っ
てもらう必要があります。

そこで、平成27年2月22日(日)に「普天間飛行場の跡地利用が持つ意義とは?」をテーマとして、市内の高校、大学に通う学生による「沖縄学生会議」を開催した。当日は10名の学生が登壇し、それぞれ専門分野から見た跡地利用の在り方について様々な意見が出されました。

※学生目線の主な意見を紹介します（他にも多数の意見が提案されています）

今後、跡地利用計画の素案が取り
まとめられる予定です！



【「まち未来だより」発行元】

官野瀧市役所 基地政策部 まち未来課

〒901-2710 沖縄県宜野湾市野嵩一丁目1番1号

098-893-4401 (直通) FAX 098-892-7022

普天間飛行場跡地利用に係る情報は、宜野湾市ホームページと情報提供窓口（宜野湾市基地政策部まち未来課）でも提供しております。情報収集と跡地利用に係る要望・ご意見を述べられる場としてお気軽にご利用ください。

図：「まち未来だより」2号（裏面）

(3) 「まち未来課ホームページ」の更新・充実化

1) 取り組みのポイント

これまで本業務における活動成果等に関してはまち未来課のホームページ上に情報を掲載し、市民だけでなく市外、県外に対しても情報発信を行ってきた。

跡地利用に係る行政側からの情報や若手の会、NBミーティングの活動状況等の情報を提供するため、まち未来課のホームページに活動成果等の情報を更新し、情報の充実化を図る。

2) 主な情報更新内容

- ・ 本業務の内容
- ・ 今年度の取り組み経過
- ・ 若手の会の活動状況（今年度の活動概要、活動年表の更新等）
- ・ NB ミーティングの活動状況（今年度の活動概要等）
- ・ 地権者支援情報誌「ふるさと」第 40～41 号をバックナンバーとして掲載
- ・ まち未来だより第 1～2 号を掲載